

Independent

令和4年9月26日 発行

No.7

美瑛町すだちの教室通信



～コミック会話を使って～

友達とケンカになったときなど、状況や相手の気持ちを考えさせるときにコミック会話が役立ちます。また、「あなたが相手の立場だったらどう思う？」と聞くのではなくて

「あなたは〇〇と思ったんだね。」

「でもB君は××と思ったんだって。」

のように、自分と相手で分けると伝わりやすくなります。

子どもの気持ちを聞き出す時も同様です。

「あなたは(〇〇さんは)どう思う？」と聞きます。

×「普通はどう思う？」とか×「みんなはどう思う？」ではなくて○「あなたはどう思う？」。

「つぎに、同じようなことがあったらどうする？」など

トントンってさわっただけ

A君

バシバシたたかれた

B君

「あなたはトントンってさわったと思ったんだね。」
「B君はバシバシ叩かれたと思ったんだって。」

自分(大人)の気持ちを伝えるときも、「私(お母さん、お父さん、先生)はこう思ったよ。」

とI(アイ)メッセージで伝えるのが良いです。

参考文献

コミック会話 キャロル グレイ(著)
門 眞一郎(著)

〈10月の予定〉



※美瑛中学校 1学年・2学年保護者のみなさまへ

11月15日(火)～22日(火)放課後に保護者面談が行われますが、すだちの教室利用の方は**ケース会議と合わせて行います。放課後の保護者面談は行いません**ので、案内文書が届きましたら希望日時を記入せずに学校へ提出してください。